

JICA筑波における農業技術と農業人材の共創サイクル (農業共創ハブ) の構築とは

JICA筑波のリソース（施設・研修員・立地等）及び研究学園都市のリソースを活用し、以下3つの事業を循環させる共創サイクルを構築することで、農業技術、農業分野の開発人材及び農業分野の開発事業を生み出す拠点（農業共創ハブ）を実現する。

これにより、途上国及び日本国内の農業開発の双方に貢献しつつ、農業分野のDXを推進する。

- ▶ 新規農業技術に係るビジネスマッチング
- ▶ 新規農業技術の研修事業への導入と外国人材受入支援
- ▶ 開発協力人材育成



1. 農業技術にかかるビジネスマッチング

- 1) 研修員と農業企業との意見交換会の実施
- 2) 製品や技術の展示紹介
- 3) 関連企業間の意見交換会の実施
- 4) 他事業実施者による取組紹介

民間や他機関
とJICA

2. 新規農業技術の研修事業への導入と 外国人材受入支援

研修員、外国人材のための
新規農業技術の研修の場
⇒日本の技術と途上国のニーズ
との結節点

途上国人材

2019年度実施実績

- アサヒバイオサイクル
- トヨタ・モビリティ基金
- クボタ、ヤンマー、井関農機等の農業機械メーカー
- JiPFAを通じた連携の模索
- アイ・シー・ネット
- 株式会社フジケン
- 株式会社ワイオーエアフリカ
- カンリウ工業株式会社
- 株式会社ケツト科学研究所
- 国土防災技術株式会社
- 株式会社スカイマティクス
- JAXA
- 富士通 など

3. 開発協力人材育成

JICA専門家・協力隊員のための
スマート農業等新規農業技術の研修の場
⇒途上国の課題への対応

日本の
開発人材

2019年度実績

- スマート農業にかかる課題別研修の企画
- GPSガイダンスモニター付きトラクタ
- ドローン（圃場センシング機能）
- データロガーおんどとり
- farmo（クラウド農業サービス機器）
- 農研機構、筑波大学との協議

2019年度実施実績

- 若手コンサルタント育成のための農業実践研修（計3回）
- 開発コンサルタント会社による社内向け人材育成

測定器



精米機



ドローン



意見交換会



土壌活性剤



JICA筑波内展示の様子



フィールドデー/技プロ専門家との意見交換



開発コンサルタントによる機材の試行の協働

